

1 凝固 因子欠乏症の一症例

2
3 市原禎恵 長嶋友香 岡澤恵美子 脇田智恵子
4 広橋いつ子 (社会保険船橋中央病院 検査部)
5 小澤真一 (社会保険船橋中央病院 血液内科)
6

7 【はじめに】血友病以外の先天性凝固因子障害症を
8 血友病類縁疾患と呼び、血漿中の凝固因子抗原量と
9 活性の関係から凝固因子欠乏症と凝固因子異常症に
10 分類される。凝固因子のうち 因子欠乏症は稀な疾
11 患とされ、本邦では 23 症例が報告されているのみで
12 ある。今回他院にて、術前検査で凝固検査に異常を
13 指摘され当院を紹介受診した、 因子欠乏症の症例
14 を経験したので報告する。

15 【症例】81 歳、男性、凝固検査 APTT の著明延長を
16 認め精査のため当院受診。既往歴は高血圧症、高脂
17 血症。4~5 年前より薬を服用。外傷、手術歴なし。
18 紫斑、点状出血なし。

19 【検査データ】WBC 6700/ μ l、RBC 379 $\times 10^6$ / μ l、
20 Hb 11.7g/dl、Ht 36.1%、PLT 12.5 $\times 10^9$ / μ l、凝固
21 時間 26 分、出血時間 2 分、HPT 89.7%、PT 84.3%、
22 APTT 測定不可、Fig 596mg/dl、FDP 2.1 μ g/ml、
23 因子活性 190%、 因子活性 133%、 因子活性 127%、
24 因子活性 3%以下、VWF Ag 224%、VW 因子活性 282%

25 【診断】 因子が著明低下し、APTT 延長は 因子の
26 欠乏が原因。出血時間正常。 因子欠乏は出血傾向
27 を示さない事で知られ、本症例と一致する。手術に
28 際しても止血に影響はないと思われる。仮に出血が
29 止まり難い場合、FFP の補充で良いと診断された。

30 【まとめ】今回、 因子欠乏による APTT 延長の症例
31 を経験した。81 歳まで判明しなかった原因として、
32 この疾患が実際には出血傾向を示さないためと考え
33 られる。術前検査のため、凝固検査として APTT を実
34 施し、 因子欠乏が発見された。APTT 検査の重要性
35 を示唆するものである。
36

37 047-433-2111 (内線 2602)
38
39